



一緒にいこうよ! ワンデイトリップ 秋の収穫祭のご報告 10月24日(日)

奈良にある契約農家を訪れて、みんなで稲の収穫を行いました。この稲は6月に行ったワンデイトリップの時に、みんなで植えたものです。今年の猛暑を越えて元気に育ちしっかり実ってくれました。これも、きっとみんなが気持ちを込めて植えた苗を匠がしっかりと守ってくれたおかげですね。自分の手で植えて、自分の手で刈り入れる。今ではすっかり少なくなった体験ですが、やはり米を主食とする私たちには大切な行為の確認となったのではないのでしょうか。もっとも、ただ刈りいれただけでは食べられません。この後、干したり、脱穀したりと作業がありますが、こちらは匠が引き受けてくださいました。みんなの刈った稲は、匠の手を通して、後日お家へお届けいたします。きっととってもおいしいですよ! お楽しみに。そして、稲と時期を同じくして実る農作物の一つがアズキです。昔の人々は新米とアズキでお赤飯を炊いたり、おはぎを作ったりして収穫を祝ったそうです。今回は、みんなもおはぎ作りに挑戦しました! 自分でつくと味も最高でしたね!

そして、秋は草むらに暮らす昆虫たちが活発になる季節。スズムシにコオロギ、バッタなど沢山の生き物を見つけることが出来ましたね! これから、植物も動物も寒くなる季節に備えていきます。季節の移り変わりをしっかりと感じた一日でした。



大きく育った稲を、



みんなで刈り取りました。



収穫!



サツマイモも...



たくさんとれました!!

11月

月	火	水	木	金	土	日
1 休	2 後期第9回目授業	3 土器を探そう	4 9回目授業	5 10回目授業	6 11回目授業	7 豊中月1
8 休	9 後期第10回目授業	10 11回目授業	11 12回目授業	12 13回目授業	13 14回目授業	14 西宮月1
15 休	16 後期第11回目授業	17 12回目授業	18 13回目授業	19 14回目授業	20 15回目授業	21 西宮キュレ・KBS 豊中SE
22 休	23 後期第12回目授業	24 13回目授業	25 14回目授業	26 15回目授業	27 16回目授業	28 豊中キュレ・テトメ 西宮SE
29 休	30 後期第13回目授業	12/1	2	3	4	5

12月

月	火	水	木	金	土	日
休	後期第13回目授業	1	2	3	4	5 豊中月1
6 休	7 後期第14回目授業	8	9	10	11	12 西宮月1
13 休	14 後期第15回目授業	15	16	17	18	19 西宮キュレ・KBS 豊中SE
20 休	21	22	23 冬期講座	24	25 冬期講座	26 豊中キュレ・テトメ 西宮SE
27 休	28 休講	29 休講	30 休講	31 休講		

～後期個別保護者面談会のお知らせ～

半期に一度行っております個別保護者面談会を下記の日程で行うこととなりました。お一人様30分程度の面談です。お子様の普段のご様子について、また保護者の皆様のご意見などを伺う場になればと考えております。今回は電話のみの受け付けとなっております。ご希望の方はお電話にてキッズラボ本部(06-6841-0039)安藤までお知らせください。完全予約制となっておりますので、先着順にご希望時間を受け付けさせていただきます。下記日程でご都合のつかない場合はご相談ください。尚、面談は自由参加となっております、こちらからのご連絡はいたしませんのでご注意ください。

日程 11月16日(火)～20日(土) 10:00～15:30 豊中校舎
11月23日(火)～27日(土) 10:00～15:30 西宮校舎

キュレーター A

【講義】ものの燃え方
【実験】燃焼と酸化

紙をはじめとして、さまざまなものがどのようにして燃えるのか、その燃え方を比較します。また、ろうそくの火を観察し、炎心・内炎・外炎での違いを、様々な実験方法より学んでいきます。

燃焼とは、光や熱をだしながら、酸素と結びつくことであり、酸素と結びつくことを酸化と言います。鉄の場合、酸素と結びつく酸化鉄となりますが、酸化鉄になったことを磁石がつかつかないかという方法で調べていきます。

キュレーター Σ

【講義】光の性質とレンズ・像
【実験】光の直進・反射・屈折・レンズの像

光は目に見えているようで、とらえにくい。そんな光の性質を視覚化して学びます。光には直進、反射、屈折の3つの性質がありますが、どのようなときに直進、反射、屈折するのか? 法則を発見していきます。また、光の単元で最もつまづきやすい、レンズによる虚像、実像にも取り組みます。凸レンズを使用して、さまざまな距離からろうそくの映像をスクリーンに映し出すことに取り組みます。ろうそくの映り方が、距離によってどのように変化するかを実験します。

①磁石の力/水と空気の不思議

「磁石の力」ではクリップを使い、磁石の力で引っ張られる様子を観察します。また、磁石のどの部分が一番力が強いのかも調べていきます。「水と空気の不思議」では、ベルヌーイの定理と呼ばれる気体や液体のような「流体」が運動するとき運動速度が大きいほど圧力が低くなるという法則を実験で調べていきます。

②星は見える？/望遠鏡を作る

「星は見えるかな？」では、星はいつ見えるのかを学んでいきます。また、冬の星座についても学びます。「望遠鏡を作ろう！」では、虫眼鏡のレンズの仕組みを実験で学んだ上で、望遠鏡の作成をします。

③樹氷作り/べっこうあめ

「樹氷作り」では、フェルトで作ったクリスマスツリーに樹氷ができる様子を実験します。どんな結晶ができるか楽しみですね。「べっこうあめを作ろう」ではグラニュー糖を加熱すると溶けて色が変わっていくことを観察し、べっこうあめ作りを体験します。上手にできるかな？

④踊るセロハン/あぶりだし

「踊るセロハン」では、切ったセロハンを手のひらにのせたり、湯気を使ってヒラヒラと動く様子を観察します。「あぶりだし」ではレモン果汁を使って文字を書き、あぶり出しの不思議を体験します。

11月のキッズラボ I

《1》飛ばしてみよう

普段は、あまり意識することがない「空気の性質」を様々な実験を通じて体験し、身近なものに潜む力を感じるのが授業のねらいです。空気の性質の1つである、「伸び・縮み」について学習しますが、縮められた空気が元に戻ろうとする時にどれくらいの力を示すのかを空気てっぽうを工作し、実験で確かめます。

《2》落としてみよう

「飛ばしてみよう」では、力を加えることによって空気を伸び縮みさせ、空気の力を確かめましたが、今回は力を加えないで空気の中にものを落とし、空気があることで抵抗が生まれることを学んでいきます。空気があるからこそできることを見つけ、「空気が存在している」ということを感じるのがねらいです。

《3》水を温める

アルコールランプを使って、水を温めて水の中で起こる変化を観察します。水の伸び縮みではなく、どんな状態の変化が起こっているのか水の中を正しく観察し、温度を正しく測ります。普通の水が沸騰するのは95、6℃ぐらいです。

《4》雲を作る

水蒸気を冷やすという方法で雲を作ります。つまり、温度が下がると雲ができるということ学びます。そして、実は地球でも空気がごく寒いので地面から出て行った水蒸気が上空で雲という形になって浮かんでいるということを理解していきます。

11月のキッズラボ II

《1》酸素の発生

前回の「酸素の性質」に続く授業で、今度は準備した実験装置を使って水上置換法により酸素を発生させて取り出します。取り出した酸素にはものを燃やす働きがあるかどうか、その性質を調べていきます。

《2》かきの種子と分類

柿を解剖して、種を取り出し中がどのようにになっているのかを観察します。また、マメと比べてその違いについて学んでいきます。柿は有胚乳種子、マメは無胚乳種子ということを実際の観察から学習します。

《3》特殊な電池

乾電池に豆電球をつなぐと、電気が流れて灯りがつきますね。乾電池の中に閉じ込められている電気ですが、どうやって作られているのでしょうか？二種類の金属を使って電気を発生させてみましょう。

《4》磁力

磁石のもつ力について復習してみましょう。どういときに引きつけられて、どういときには反発するのかな。そして、目には見えない磁石の力を目に見えるように調べていきますよ。

11月のキッズラボ III

《1》てんびん①

「つり合い」の仕組みを調べるために、てんびんを作成します。てんびんが傾かないように作成するために、どのような工夫が必要かを実験を通して学びます。つり合うということを感覚的に理解することがねらいです。

《2》てんびん②

前回作成したてんびんを使って、てこの原理について学んでいきます。つり合うためにはどのようなルールがあるのでしょうか。実際におもいをつるして確かめていきます。

《3》てんびん③

ばねとてんびんを組み合わせた実験を行います。ばねはかりを使って、「重さ」といわれるものと「力」といわれるものが同じであることを学んでいきます。また、下に引き下げる力と上に引き上げる力がつりあったとき、支点を中心に考えると力の大きさは同じであることも実験を通して学びます。

《4》葉のはたらき

植物の葉のつくり、働きを観察するという授業になっています。今回は葉の働き、水のゆくえというテーマです。解剖顕微鏡、ルーペの使い方を確認し、葉を観察します。そして葉の中の水分のゆくえを調べるため、蒸散作用を観察します。最後にどこから蒸散されるか実験し、次回につなげます。

11月のキッズラボ IV V

《1》化合

「化合」という言葉の意味・現象を実験を通じて伝えると同時に、「定義」とはいったい何かを認識していきます。実験では、スチールウールを燃焼させ、酸化鉄を作ります。スチールウールの反応前と反応後ではどのように変化しているのかを確認していきます。

《2》分解

化学反応の種類の中には「化合」と「分解」がありますが、このプログラムでは、「分解」にスポットをあてます。「化学」という分野では、ものを「作る」ということだけでなく、「分解する」ということも大切な考えだということ、この実験を通して学びます。

《3》次世代エネルギー

水溶液の性質を利用して、電気を発生させましょう。うまく電気をためることができるかな。また、酸性・アルカリ性を調べる指示薬と、電気力で水溶液が変化するこの性質を使って、ちょっと変わったペンを作りますよ。

《4》燃焼①

今回は、燃焼の三要素について復習を兼ねて学習します。三要素のうち、空気（酸素）にたくさん触れることで、ものがよく燃えるということを理解し、粉塵爆発という、少し変わった燃焼の形態について実験を行います。